

中泊町 平成23年度 財政健全化判断比率の状況					実質公債費比率					
比率の 状況	区 分	比率(%)	早期健全化 基準(%)	財政再生基準 (%)	区 分	決算額(単位:千円、%)			左の内訳(単位:千円)	
						平成21年度	平成22年度	平成23年度		
	実質赤字比率	—	15.00	20.00	公債費充当一般財源額(繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く) ①	1,455,218	1,328,135	1,197,950	③の内訳	H23決算額
	連結実質赤字比率	0.17	20.00	35.00	満期一括地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額等) ②				水道事業特別会計	15,693
	実質公債費比率	15.2	25.0	35.0	公営企業債の財源に充てたと認められる繰出金 ③	63,126	66,349	53,305	漁業集落排水事業	10,567
	将来負担比率	116.5	350.0		一部事務組合等の起こした地方債の償還に充てたと認められる繰出金 ④	94,492	47,819	47,764	農業集落排水事業	21,768
実質赤字比率					債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの ⑤	2,579	2,501	3,289	国民健康保険(診療施設)	5,277
区 分	決算額 (単位:千円、%)		備 考		一時借入金利子 ⑥	1,343	1,267	1,244	⑤の内訳	H23決算額
繰上充用額 A	0				災害復旧費等に係る基準財政需要額 ⑦	668,771	625,346	589,315	国営事業等に対する負担金	2,434
支払繰延額 B	0				災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金に係るものに限る) ⑧	6,689	6,689	6,689	利子補給に係るもの	855
事業繰越額 C	0				事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 ⑨	181,531	153,217	138,517		
標準財政規模 D	4,874,052				事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費(準元利償還金に係るものに限る) ⑩	12,660	15,250	14,163		
実質赤字比率 A~Cの計÷D	—				密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金 ⑪	7,185	7,239	7,259		
					密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金(地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る) ⑫			17		
					小 計 = ①~⑥の計 - ⑦~⑫の計 A	739,922	638,330	547,592		
					分母 標準財政規模 ⑬	4,992,032	5,236,893	4,874,052		
					小 計 = ⑬ - ⑦~⑫の計 B	4,115,196	4,429,152	4,118,092		
					単年度実質公債費比率 A÷B×100 C	17.98024	14.41201	13.29723		
実質赤字比率 A~Cの計÷D					—	実質公債費比率(3カ年平均) H20~H22のCの合計÷3			15.2	
連結実質赤字比率					将来負担比率					
会計区分	会計名	決算額(単位:千円、%)		区 分	決算額(単位:千円、%)			左の内訳(単位:千円)		
		実質収支又は資金剰余・不足額	資金不足比率							
一般会計等	一般会計	46,454		平成23年度末 一般会計の地方債現在高 ①	11,280,833			③の内訳	決算額	
公営 企業 会計	法適用企業	水道事業	243,283	—	債務負担行為に基づく支出予定額 ②	14,614			水道事業特別会計	278,196
	法非適用企業	漁業集落排水事業	247	—	特別会計の地方債の元金に対する一般会計等の負担見込額 ③	828,475			漁業集落排水事業	288,317
		農業集落排水事業	316	—	組合等の地方債の元金償還に対する負担見込額 ④	101,335			農業集落排水事業	206,566
その他の 特別会計	国民健康保健(事業勘定)		△ 6,702		退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額 ⑤	1,914,299			国民健康保険(診療施設)	55,396
	国民健康保健(診療施設勘定)		△ 302,079		設立法人の債務等に対する一般会計等負担見込額 ⑥	0				
	介護保健事業		4,720		連結実質赤字額 ⑦	8,409				
	特別養護老人ホーム 静和園事業		4,957		組合等の連結実質赤字相当額に対する負担見込額 ⑧	0				
	後期高齢者医療		395		平成23年度末の充当可能基金現在高 ⑨	914,624				
連結実質収支 A		△ 8,409		特定の歳入見込額 ⑩	621,026					
連結実質赤字(Aが赤字の場合のみ、Aの絶対値) B		8,409		地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額 ⑪	7,814,022					
標準財政規模 C		4,874,052		分子 小計 = ①~⑧の合計 - ⑨~⑪の合計 A	4,798,293					
連結実質赤字比率 B÷C×100		0.17		標準財政規模 ⑫	4,874,052					
				算入公債費(「3 実質公債費比率」⑦~⑫の計) ⑬	755,960					
				分母 小計 = ⑫ - ⑬ B	4,118,092					
				将来負担比率 A÷B×100	116.5					

※ 実質赤字額、連結実質赤字額がない場合、比率は「—」表示となる。